

取扱説明書

「墜落制止用器具の規格」適合品

墜落制止用器具/フルハーネス型

ツヨロン® レヴォ ハーネス

TH-508
(胴ベルト* 着脱可能)

TH-564
(柱上安全帯用ベルト取付用)

* 胴ベルトとは作業ベルトの商品名であり、墜落制止用器具の胴ベルト型ではありません。



形状は一例を示します

本品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に作業者と事業者は本書を必ずお読みください。

「1.お使いいただく前に」および「2.安全にお使いいただくために」は事故を未然に防ぐためにとっても大切ですので、よくご理解のうえ、ご使用ください。

ご使用の際は、「9.点検と廃棄の基準」にしたがって、点検を行ってください。使用経験の少ない作業者は、定められた責任者と共に使用前後の点検を行ってください。

- ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書は必要な時に活用できるよう大切に保管してください。
- 本書を紛失された場合は弊社に請求してください。

11. 性能

弊社総合試験所において、「墜落制止用器具の規格」に示された方法で試験を行い、下記の規格値を満たしています。（新品時）

本品は主要部に合成繊維を用いていますので、使用による摩耗・紫外線劣化・その他の要因によって経年と共に強度が低下します。「9.点検と廃棄の基準」の項目を参照して、十分に点検を行ってください。

試験項目	試験方法	「墜落制止用器具の規格」値
11.1 フルハーネス の耐衝撃性 など	脚部から先に落下させる* 	トルソーを保持できること 落下後のトルソーの傾き角度： 45° 以下
	頭部から先に落下させる* 	
	脚部から先に落下させる*	
	頭部から先に落下させる*	
11.2 フルハーネス の引張強度	順方向（静的トルソーの頭部方向）	15.0kN以上
	逆方向（静的トルソーの脚部方向）	10.0kN以上

*落下体を1m以上つり上げる、または16.0kNを超える衝撃荷重が加わる高さまでつり上げて落下させる。



取扱説明書

「墜落制止用器具の規格」適合品

墜落制止用器具/フルハーネス型

ツヨロン® タイプ1ランヤード (第一種ショックアブソーバ付き)

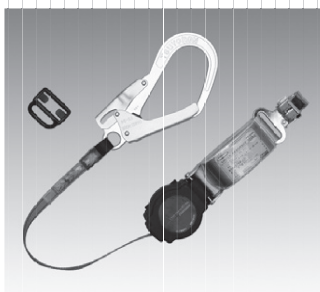
【巻取式】

本品を正しく安全にお使いいただくために、**ご使用前に作業者と事業者は本書を必ずお読みください。**

「1.お使いいただく前に」および「2.安全にお使いいただくために」は事故を未然に防ぐためにとっても大切ですので、よくご理解のうえ、ご使用ください。

ご使用の際は、「9.点検と廃棄の基準」にしたがって、点検を行ってください。使用経験の少ない作業者は、定められた責任者と共に使用前後の点検を行ってください。

- ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 本書は必要な時に活用できるよう大切に保管してください。
- 本書を紛失された場合は弊社に請求してください。



形状は一例を示します。

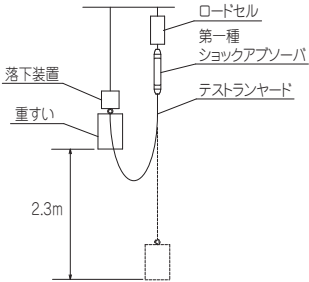


11. 性能

弊社総合試験所において、「墜落制止用器具の規格」または「JIS T 8165:2018」に示された方法で試験を行い、下記の規格値を満たしています。(新品時)

本品は主要部に合成繊維を用いていますので、使用による摩耗・紫外線劣化・その他の要因によって経年と共に強度が低下します。「9.点検と廃棄の基準」の項目を参照して、十分に点検を行ってください。

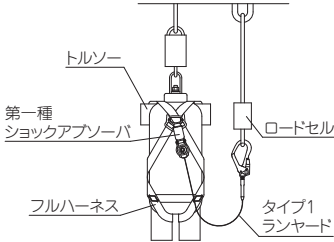
11.1 ショックアブソーバの耐衝撃性など

試験方法	「墜落制止用器具の規格」値
<p>重すいをテストランヤードで 最大自由落下距離2.3m*落下させる。</p>  <p>(形状は一例を示します) (重すいの質量については、ショックアブソーバの使用可能質量による)</p>	<p>衝撃荷重：4.0kN以下</p> <p>ショックアブソーバの伸び： 1.2m以下</p>

(ショックアブソーバの衝撃荷重値は、測定した試験値が2.2kN以上の値の平均値を算出しています)

*最大自由落下距離2.3m落下：第一種ショックアブソーバの自由落下距離は1.8mですが、1.8mを超える距離で試験を行い、第一種の基準に適合することを確認することは、より安全な措置として認められています。ランヤードの長さを1.7mとして手すりの高さ対応とする場合は、追加落下距離が0.6mですので、最大自由落下距離を1.7+0.6=2.3mとして試験を実施します。

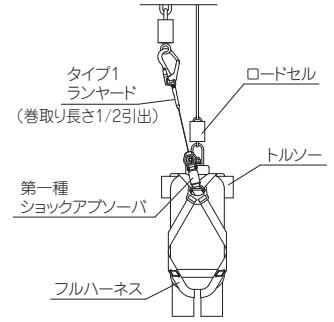
11.2 フルハーネス型組合せ品の耐衝撃性など【ワン・ハンドリトラ式】 【ノビロン式】

試験方法	「JIS T 8165:2018」規格値
<p>巻取り長さの全部を引き出した状態で、トルソーを自由落下距離落下させる。</p>  <p>(形状は一例を示します) (トルソーの質量については、ランヤードの使用可能質量による)</p>	<p>衝撃荷重：4.0kN以下</p> <p>ショックアブソーバの伸び： 1.2m以下</p>

ツインランヤードの巻取式+ノビロン仕様(p.22参照)のノビロンランヤード側の組合せ品の耐衝撃性についても、自由落下距離2.3m(ランヤード長さ1.7mの場合)落下させ、同様の規格値で性能を確認しています。(フルハーネス型の組合せ品の衝撃荷重値は、測定した試験値が2.2kN以上の値の平均値を算出しています)

*自由落下距離：ランヤードの長さを1.7m、フックの取付高さを0.85m(手すり高さ)とした場合、追加落下距離は0.6mですので、自由落下距離を $1.7+0.6=2.3\text{m}$ として試験を実施します。

11.3 フルハーネス型組合せ品の耐衝撃性(ロック機能)など【コルトリトラ式】 【SRリトラ式】

試験方法	「JIS T 8165:2018」規格値
<p>巻取り長さの1/2を引き出した状態で、トルソーを落下させる。</p>  <p>(形状は一例を示します) (トルソーの質量については、ランヤードの使用可能質量による)</p>	<p>ロック機能が作動して、トルソーを保持すること。</p> <p>衝撃荷重：4.0kN以下</p> <p>ショックアブソーバの伸び： 1.2m以下</p>

(フルハーネス型の組合せ品の衝撃荷重値は、測定した試験値が2.2kN以上の値の平均値を算出しています)

11.4 各部の引張強度（静荷重）

試験項目	「墜落制止用具の規格」値
フック・カラピナ	11.5kN以上
織ロープ（縫製部含む）	15.0kN以上
幅34mmノビロンストラップ	
ショックアブソーバ	15.0kN以上
巻取器	11.5kN以上

12. 標準モデル

ここでは、標準モデルのみを記載しています。

この取扱説明書は、型番がTHLから始まるフルハーネス型 タイプ1ランヤード（巻取式）に対応しています。商品の仕様は、予告なしに変更される場合があります。詳しくは、お客様相談窓口にお問い合わせください。

型番	型番
THL-TOR93-33-R23	THL-CR93-21KS-R23
THL-OHNV-33-2R23	THL-2-CR93-21KS-2R23
THL-TR93SV-21KS-R23	THL-2-CR93SV-21KS-2R23
THL-CR93SV-21KS-R23	THL-2-CRNV93SV-21KS-2R23

13. お客様相談窓口

この取扱説明書の内容やその他製品に関するご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

藤井電気株式会社 URL=<https://www.fujii-denko.co.jp/>

本 社 営 業 部 〒679-0295 兵庫県加東市上滝野1573番地2 TEL(0795)48-3851 FAX(0795)48-3409
 東北地区 仙台営業所 〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目9番5号五輪ビル TEL(022)256-7001 FAX(022)295-7423
 関東地区 東京支社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目7番2号長坂ビル TEL(03)5821-2241 FAX(03)5821-2170
 中部地区 名古屋営業所 〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目29番19号 ヤスイビル TEL(052)211-7781 FAX(052)211-7782
 関西地区 大阪営業所 〒530-0041 大阪市北区天神橋1丁目8番13号林ボタンビル TEL(06)6882-3355 FAX(06)6242-2170
 九州地区 福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目8番27号 博多駅東パレスビル TEL(092)413-6110 FAX(092)413-6120

北海道・北陸・中国・四国・沖縄地区については、本社営業部のご相談窓口にお問い合わせください。

最新設備を備えた藤井電気総合試験所



屋外試験鉄塔群




屋内試験鉄塔



社(やしろ)工場



 **藤井電気株式会社**